

# ふくし山内<45号>

令和5年8月2日発行  
山内地区社会福祉協議会  
会長 野本 建夫

## 2022年度総会が終了し 2023年度が始まりました

会長 野本 建夫



2020年2月新型コロナウイルスに見舞われ総会は「書面表決」が3年続き、4年振りに今まで通りの開催となりました。

5月26日(金)JA横浜・山内支店二階会議室を借用しての開催となり、無事終了する事が出来ました。

多少修正をしなければならない事項もございますが、急を要する内容ではなく、これから時間をかけてより良いものにしたいと思っております。

2023年度の事業としましては、コロナがまだ全面的になくなったわけではないので、コロナの状況を見ながら実施していく予定でおります。

今のところ、9月の交通安全教室11月頃に一日バス旅行が出来ればなと思っております。

私も前会長の吉村茂様よりお引き受けをして、今年の総会でやっと1期3年が終了出来ました。これも会員皆様方のご協力・ご指導のお陰で御座います。

今期も役員皆様のご協力ご支援で、この山内地区社協がより良いものとなります様頑張りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

### <新役員 ご紹介>

会長 野本 建夫  
副会長 工藤 明  
飯島 貞芳  
松島 孝信  
委員 齊藤 正夫  
吉村 秋徳  
会計 久保 雅子  
瀧 房江

相談役 吉村 茂  
吉村 春美  
會田 勇治  
監事 山賀 礼美子  
太田 規子  
事務局長 吉村 なお子



よろしくお願ひいたします。

相談役を務めた小野邊 旻氏・根岸俊昭氏、監査役を務めた青砥正典氏・坪井笑美子氏は退任いたしました。長年にわたる多大なご尽力に感謝申し上げます。

## 令和5年度 山内地区社会福祉協議会定時総会

5月26日 於:JA 横浜山内支店

- 第1号議案 令和4年度事業報告決算報告監査報告
- 第2号議案 令和5年度事業計画収支予算案
- 第3号議案 地区社会福祉協議会会則の改定
- 第4号議案 地区社会福祉協議会役員の改選

上記の議案は賛成多数で可決成立いたしました。

地区社会福祉協議会会則については、更により良い会則を目指し、引き続き検討して参ります。



## 山内地区社会福祉協議会 各種団体 活動助成金配布・意見交換会

7月18日 於:JA 横浜山内支店

山内地区社会福祉協議会では総会決議に沿い、38団体に助成金を配布しました。

意見交換会では、各団体の現状や今後の活動についてなど、詳しくお話しいただき、情報を共有いたしました。





## 子育て広場 あざみ野



ゆっくり子育て・楽しい情報交換をしませんか? をコンセプトに、その日に居合わせた方々と「育児あるある」「・・・これどうしています?」などの情報交換をしたり、消防署の方から救急処置の方法を教わったり、外部の専門の方々をお招きし楽しい時間を過ごしていただいております。

子育て中・育休の方・お孫さんを預かっている方もお子様と一緒に是非おいでください。

毎月 第三水曜日 午前10時～11時30分

あざみ野東公園内にある「あざみ野会館」で行っております。(但し8月はお休みです)

<小塚 桂子>

## 赤ちゃん休憩室



赤ちゃん休憩室は、2006年に市営地下鉄あざみ野駅の改札を出た所に開設しました。横浜市交通局からお借りした部屋で、あざみ野に住むボランティアが無料で運営しています。商業施設にあるようなミルクを作るお湯やお水を備えた便利さはありませんが、ソフトなフローリングに置き畳を敷いた部屋に上がり、お母さんと一緒に赤ちゃんが手足を伸ばしてくつろげる場所になっています。年末年始を除く月～金曜の10～16時に開けていますが、土日や時間外でも駅の方に声をかけての利用が可能です。

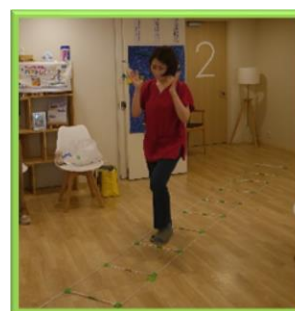
<安西 由美子>



## 取材してきました！

7月28日にあざみ野2丁目の「よってこ」で「ハマトレ」取材しました。ハマトレは、ロコモティブシンドローム予防のトレーニングです。トレーナーが動作の意味と動きを丁寧に解説した後、全員でのトレーニング。(横浜市HPには市歌バージョンも紹介されています)

最後は「脳活」。床に引かれた梯子に沿って歩くのですが、○の倍数では足を梯子の外側に出す／手をたたくなど動作を加えます。3の倍数では苦戦する参加者多数！暑い日の熱い体験でした。



<前原>



うれしいたのしい えこだマルシェ 第2回は雨



5月13日は雨でしたが太陽公園のローズハウスで一部実施しました。「えだ福祉ホーム」の焼菓子販売、荇子田小学校児童の個人展覧会、そしてマルシェの趣旨に賛同した「えころん」がコンサートを実施、ローズカフェも店開き。焼菓子は完売。心配だったのかな？校長先生も見学に。コンサートは親子で満杯、と50~60人の来訪者がありました。

第3回は11月18日(土)

販売と表現展示の「うれたのマルシェ」。これからは『小雨は決行』ですね。 <保科達夫>

認知症VR体験

7月15日に大場地域ケアプラザの協力で、認知症VR体験を実施しました。ゴーグルとヘッドホンでの体験は、非常にリアルで臨場感がありました。実体験に近い感覚を受けるVRで、認知症への理解が進む事でしょう。



9月2日(土)山内地区センターで  
認知症VR体験あり\*要申し込み\*

\*『学び・体験・情報フェア』  
8341azamino@gmail.com



編集後記

古希ライダー北海道を走る



古希を迎え、10代の頃に味わった風を切って走る爽快感がまだ味わえるのか、などと考えながら6月下旬に初めての2週間バイクソロキャンプ旅に出発。不安なこともあったが、そこはライダーが多いこの時期、フェリー、道の駅、キャンプ場と多くの方との一期一会のお陰で無事楽しむことができた。感謝！その中で帯広のばんえい競馬は忘れられない。時には1tのソリを引くレースもあると聞かすが、まさしく北海道開拓を支えた馬たちの子孫である。騎手と呼吸を合わせながら200m、大小2か所の坂で膝を折る馬、しかしゴールを目指し最後まで走り切る姿には一生懸命さを感じてしまいました。

70歳はまだまだできる事が多くある。どこまでできるかを試してみるのも悪くない選択だと思い、次回バイク旅に向け夢を描き始めたい。

今まで、当誌にも多大なお力添えをいただいた曾田勇治氏が今総会で事務局長を勇退され、相談役に着任されました。誌面をお借りしまして長年のご尽力に感謝し、改めて御礼申し上げます。

<南>

「ふくし山内」の企画・編集に参画くださるメンバーを募集中です！  
お待ちしております！！ (詳細・連絡先は吉村なお子事務局長へ)